

県産農産物の安全を支える残留農薬分析

農林水産研究所

県産農産物の安全・安心を確保するため、平成15年から関係機関と連携し、出荷前の県産農産物の**残留農薬分析**による自主検査を実施しています。

多くの農薬成分を同時に検出できる**多成分一斉分析法**を採用し、以下2つの機器を用いて分析しています。



GC-MS/MS

ガスクロマトグラフ質量分析計
(対象成分:235種類)



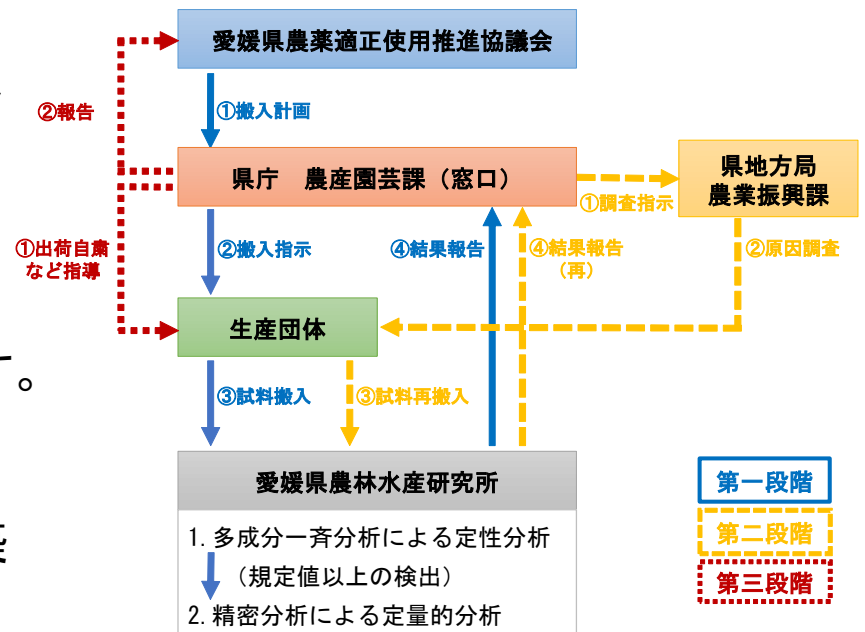
LC-MS/MS

液体クロマトグラフ質量分析計
(対象成分:134種類)

搬入された県産農産物に基準値を超える農薬残留がないかを高性能な分析機器により確認しています。

また、基準値以内であっても申告された農薬と異なる成分が検出された場合には**試料再搬入**や**原因調査**を実施する場合があります。

関係機関が一体となった体制を構築し、制度運用しています。



愛媛県における農産物残留農薬調査体制